

令和6年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立加古川小学校

1 教育目標

健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける子どもの育成

2 基本方針

- よく考える子・・・進んで学び深く考える子（主体性、思考力・判断力・表現力の育成）
- 心豊かな子・・・豊かな心を持ち、人を思いやる子（自他の尊厳の尊重）
- たくましい子・・・自らを鍛える健康で明るい子（心身の健康・気力の充実）
- 力を合わせる子・・・協調的な態度で人と接することのできる子（共生と協働）

3 指導目標

1. 「確かな学力」を培います
2. 「豊かな心」を育てます
3. 「健やかな体」を養います
4. 「人間関係を築く力」を育てます
5. 地域総がかりの教育を進めます
6. 教育のプロとして、研究・修養と業務改善に努め、豊かな人間性と指導力の向上を図ります

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
「確かな学力」の育成	協同的探究学習を核とした授業改善を推進し、「わかる学力」・「できる学力」の確実な習得、「ことばの力」の育成に努める。	B	今後も協同的探究学習を取り入れ、ICTの有効的な活用を探りながら、児童個々の学力の育成に取り組む。
「豊かな心」の育成	「道徳」の授業を要にして命を大切にする気持ちや他人を思いやる心を育て、情操教育の充実に努め、自尊感情を高める人権教育を進める。	B	全校生が集まる機会を設け、チーム加古川つ子としての絆を育む。異学年交流の時間を45分間交流できるようにし、居場所づくりにつなげる。
「健やかな体」の育成	体育・スポーツへの興味関心を高め、体力づくりの日常化を図る。災害から自らの命を守るための能力の育成、食育指導の充実に努める。	A	体育用具の充実に努め、体力づくりの環境を整える。より、実践的な防災教育を実施できるように検討を行う。教科と関連づけて、食育をおこなう。
「人間関係を築く力」の育成	「居場所」と「出番」のある学級経営を行い、児童相互のよりよい人間関係を育成し、集団活動を通して協働する態度を育てる。人間的なふれあいに基づく生徒指導を実践する。	A	係活動などをもとに所属感や連帯感を深められるようにし、気になる児童がいる際は、随時情報共有する。
地域総がかりの教育の推進	学校運営協議会の適切な運営を図り、地域とともにある学校づくり(連携意識の向上)を推進する。学校新聞やホームページを通して、学校の様子を共有する。	B	地域の保・幼・小・中・高と学校と連携を取り、長期的な視点から子どもの育ちを支えていく。ホームページなどを通じて、さらに細やかな情報発信を進める。
教職員としての指導力の向上	研修機会を充実させるとともに、OJT(学年・専科会の活用)を通して実践的な指導力の向上に努める。コンプライアンス推進に務め、人権感覚を磨く。	A	教材研究の時間を確保し、指導力の向上に努め、倫理研修・人権研修・ICT研修など、多様な研修の機会を設け、魅力ある大人の姿が示せるように目指す。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
ICTの活用による新しい学び方を実践してほしい。今後も図書の充実に努め、幅広い教養を育んでいくべきと考える。	B
異学年交流がさらに充実したものになるように期待したい。下校時には元気に挨拶をする姿が見られる。	A
登下校時に明るく元気な様子が戻ってきた。地域でも活発に遊ぶ姿も多くみられ、体を動かす習慣が身に付いている。	A
児童の心に寄り添った教育が行われている。居場所をつくるために、関係機関との連携もさらに充実したものにしてほしい。	B
地域との繋がりも大切にしてほしい。地域のイベントなどで子どもと繋がることで、幅広い視野に立ち教育が行なえると考え	B
今後も子どもに焦点を合わせたり、時代のニーズに合わせてたりした研修を続けていきたい。	A